



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151(代表)

担当者の所属・氏名 乳腺外科・笠原里紗

【研究責任者】

聖路加国際病院 乳腺外科 笠原 里紗

非浸潤性乳管癌で手術を受けられた方を対象とした

画像所見に関する研究

1.研究の対象

2015年1月～2019年12月に当院で非浸潤性乳管癌に対し乳癌の手術を受けられた方

2.研究の目的・方法

非浸潤性乳管癌においては、完治を目指し手術治療が行われますが、手術後に、病理結果にて浸潤癌があった場合にはその乳癌のタイプに応じて薬物療法が選択されます。浸潤癌では乳癌のタイプにより画像所見が異なることが報告されており、画像所見により急速進行する乳癌が予想される場合には速やかに検査や治療を行っております。非浸潤癌でも、浸潤癌と同様に乳癌のタイプにより画像所見に違いがあると予想されますが、まだよくわかっていません。この研究では、より正確な乳癌治療を行うために、非浸潤癌のタイプによる特徴的な画像所見を把握することを目的としています。手術前に行ったマンモグラフィやエコー、MRI検査などの画像検査の結果と手術で摘出した乳腺組織からわかるタイプを比較検討します。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2022年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 病歴、年齢、来院契機、マンモグラフィ、エコー、MRI画像の検査結果、手術術式、手術で摘出した乳腺組織の病理結果 等

4.外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供の予定はありません。

5.研究組織

聖路加国際病院乳腺外科、放射線科